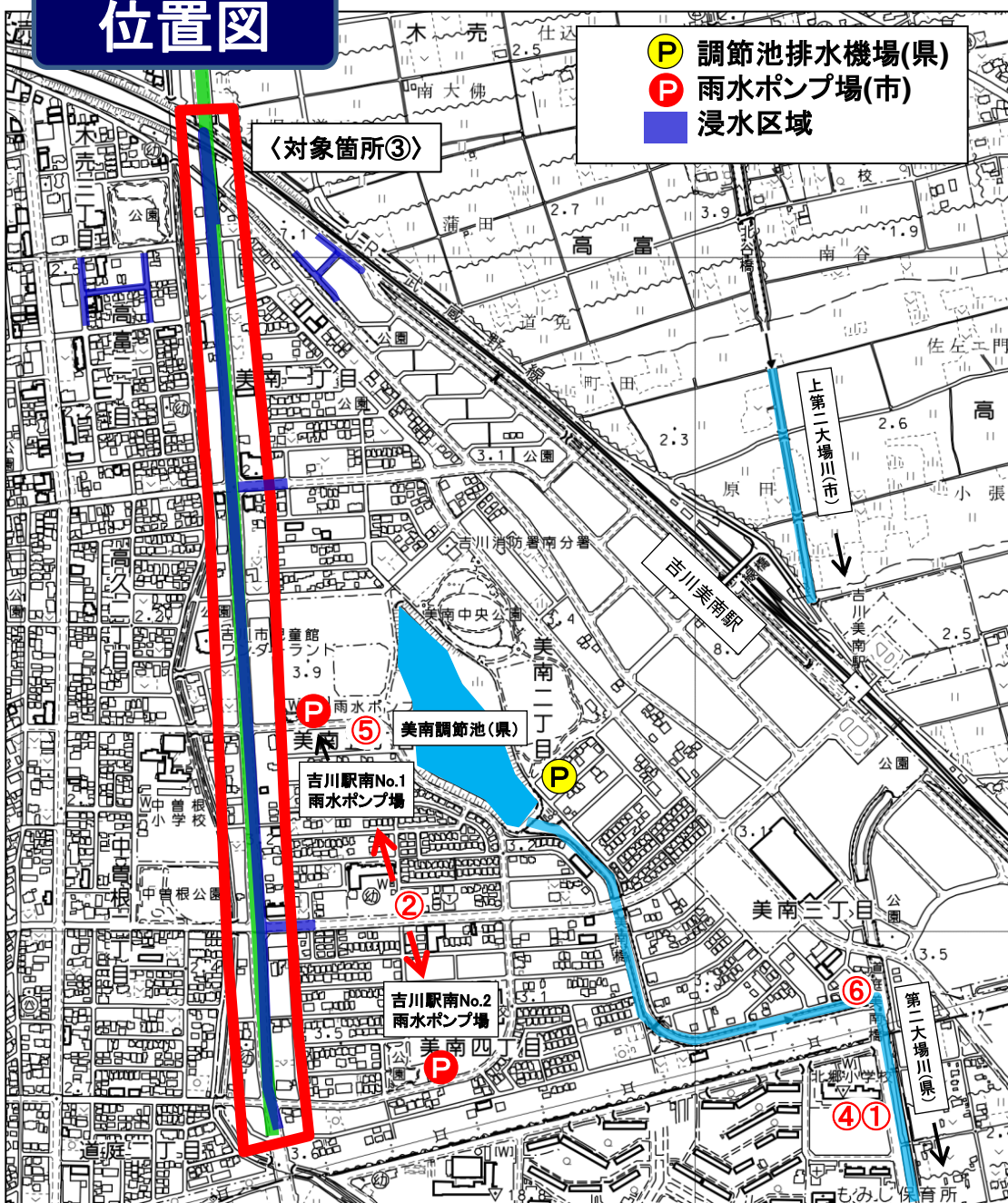


位置図



多発する浸水被害



平成25年台風26号
県道葛飾吉川松伏線

第二大場川の状況



第二大場川最上流部
吉川・三郷市境付近

(赤):事業中、またはすぐに事業着手可能な施策
(緑):検討のうえ事業化を目指す施策
(青):事業が完了した施策

〔吉川駅南地区〕

連携施策

○現状・課題

- ・県道葛飾吉川松伏線は、周辺地区に比べて低地で、出水時には内水浸水被害が発生しやすい状況である。
- ・上記県道を集水区域に含む吉川駅南雨水ポンプ場は、台風等の大量降雨時の県道における冠水を解消するために、排水能力の増強が必要である。
- ・美南調節池は、開発事業および河川事業の雨水流出抑制を兼ねた調節池であるが、未改修である第二大場川からの河川調節容量と、開発分の雨水流出抑制容量の配分が適切かどうか、検討が必要である。

●施策

- ①第二大場川の河川改修の推進(県)
- ②吉川駅南ポンプ場の排水能力増強(市)
- ③大場川下流排水機場による効率的な内水排除の検討(県)
- ④第二大場川の河床掘削等の暫定対策(県)
- ⑤美南調節池に対する排水量の増量協議(県・市)
- ⑥美南調節池越流堤の改良等の検討(県)

- 吉川駅南雨水ポンプ場の適切な維持管理(市)
 - ・ゴミ分離装置設置工事によるポンプ場の流入改善 [H27年度完了]

※その他、全域で雨水貯留浸透施設の整備推進および吉川市総合治水計画の見直しを実施
吉川市危機管理課と連携し、内水ハザードマップの効果的活用を推進